

台風14号接近に伴う農作物の管理について

令和3年9月15日

J A 佐渡営農事業部

台風14号の接近に伴い、今後の気象情報と通過前後の作物管理について
ご注意願います。

1 水稻

【事前対策】

- (1) 収穫期を迎えているほ場は、可能な限り収穫を進める。
- (2) 収穫までまだ間があり、大雨が予想される場合は、ほ場の停滞水を迅速に排除するため、ほ場内の溝や排水路の整備・点検を実施する。

【事後対策】

- (1) 収穫前のほ場が浸・冠水した場合は、できるだけ早く排水する。穂先まで冠水したほ場は、特に排水を急ぐ。
- (2) 大雨や強風によって倒伏が進んだ場合は、穂発芽等による品質低下を防止するため、ほ場排水を進めながら、早めに収穫する。
- (3) 収穫時の籾水分が高い場合は、収穫後できるだけ早く乾燥機に張り込み、通風により生籾の変質を防止するとともに、設定温度を下げて乾燥する。

2 大豆

【事前対策】

排水路及びほ場内の排水溝の整備・点検を実施する。

【事後対策】

浸・冠水した場合は、湿害による品質低下や枯死を防止するため、できるだけ早く排水する。

3 野菜・花卉

【事前対策】

- ・ハウスやトンネルはマイカー線やくいなど、あおり止めを点検補強するとともに、周辺で風に飛ばされるおそれのあるものは片付ける。
- ・収穫期を迎えている作物は、可能なものから収穫する。
- ・露地育苗中(タマネギ等)は、葉の損傷を防ぐため、べたがけ資材を被覆する。

【事後対策】

- ・強風・降雨によりキャベツ、ブロッコリー、アスパラガス、ネギ等については茎葉の損傷で病害が発生しやすくなるので、治療効果が期待できる剤を臨時散布する。
- ・草勢回復のため、葉面散布や液肥等による追肥を行う。

4 果樹

【事前対策】

- ・防風網や果樹棚は、破損部分やたるみを直し金具や支線の腐食箇所などを事前に点検補強する。また支柱などはしっかり枝等に固定する。
- ・反射マルチは飛ばないように固定するか、一時的に取り外せる場合は回収する。
- ・収穫適期を迎えている作物は、台風前にできるだけ収穫する。

【事後対策】

- ・風を伴った降雨の場合は、枝葉の傷みを確認し、必要に応じて収穫前使用基準に特に注意し、追加防除を実施する。(薬剤については、営農窓口で確認して下さい。)
- ・枝が欠損した場合は、切り直して保護剤を塗布する